

## NSN の意義を改めて考える ー会長退任にあたってー

山本初代会長から会長を引き継いで 5 年、就任時にご了解いただいたとおり、4 月の総会で退任致します。この間、職責を何とか滞りなく果たすことができたのも、運営連絡会メンバーはじめ皆様のご協力のお陰であり、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

顧みますと、任期中はコロナに散々振り回されました。2 年連続でシニアセミナーの中止・延期を余儀なくされ、2 つの同期会を結成できませんでした。更には、2018 年発足の Cool30 が活動の困難化から解散・退会したこともあって、NSN を支える若手人材の確保が非常に難しい状況になっています。

他方、平成時代の NSN を支えた方々の高齢化・引退を踏まえ、これまでの NSN の活動を記録として残すため、30 年に及ぶ歴史の編纂を五十嵐将夫氏にお願いし「ねりまシニアネットワークの歩み」を刊行しました。この小冊子と丸山敏雄氏が長く編集に携わる NSN 会報は、NSN の活動を後世に伝える貴重な記録になると確信しています。

最後に、改めて NSN の活動の意義とユニークさについて考えたいと思います。

若い頃、開発途上国の援助に携わったことがあります。その時、「取った魚を与えるのではなく、魚の取り方を教える方法を考えて」と言われました。目から鱗が落ちました。NSN の活動に即せば、高齢期を迎え時間的余裕ができた区民に、人生の充実に資する活動を自分達の手でできるように支援する、つまり同期会作りに大きな意味があるということでしょう。前号でふたば会から多彩な行事等を楽しんでいるとのレポートがありましたが、正にこれです。シニアセミナーでそれまで何の縁もなかった人々が NSN の支援を受けて同期会を結成し（魚の取り方を学び）、自分達で自主的に活動を楽しむ（魚を釣る）。これぞ NSN の中核・ユニークな役割と私は確信しています。原点を踏まえ、NSN が一層発展することを祈念して、最後のご挨拶と致します。

NSN 2 代目会長 武藤 哲

セカンドライフサロン  
第 1 回講座開催

1 月 31 日(日)に石神井公園区民交流センターに於いて、セカンドライフサロンの第 1 回講座を開催しました。事務局を含め 41 名がご参加になり、誠に有難うございました。今回はセカンドライフを恙なく過ごす上で、準備をしておく事柄を一覧表と共に解説し、その後にご自身が気づかれたこと、お考えや思いなどをグループトークで語って頂きました。多少なりともセカンドライフへのヒントの一役となりましたら幸いです。

今後は頂いたアンケートの中から関心度の高いテーマを取り上げ、その深掘りをして参ります。これからの活動に皆様のおいでを心よりお待ちしております。

セカンドライフサロン事務局

## 講演後のグループトーク



講師

第 30 回ねりまシニアセミナー  
のお知らせ

セカンドライフを楽しもう！をテーマに第 30 回ねりまシニアセミナーを開催します。日時:5 月 26 日(日)13:00~16:30、場所:ココネリホール、第一部講演:シニア大楽理事長 藤井敬三氏「シニアライフの楽しみ方」、第二部:「仲間をつくってセカンドライフを楽しもう」オリエンテーションと参加者お楽しみ交流会。

ねりまシニアセミナー委員会

## 《同期会だより》 第4回 さわやか'17

橋本会長に同期会の活動について質問形式でお話しをお聞きしました。

### 1. 会の紹介

- ・会名称 さわやか'17(さわやかな人間関係と17才の好奇心をモットーとする)
- ・結成年 2017年(平成29年)
- ・会長 橋本直樹
- ・メンバー 男性5名、女性5名 計10名
- ・年齢 63歳~88歳
- ・活動拠点 高野台地域集会所

### 2. 活動内容

——最近の活動としてどのようなことを行っていますか。また活動方針はありますか。

「いろいろな人の発案で計画、参加者を募って活動しています。最近では上野の裏道散歩、シルバースペースで行く羽田空港、深大寺散策、レインボーブリッジを歩く等ちょっと変わった企画でウォーキングを行っています。

考え方は①出来るだけ全員で行動する。②全員に呼びかけるが、設定日に行ける人のみが行く。の二通り案で企画しています。好みや体力の差に応じて自然と小分けされたグループができています。近場での活動提案も増えています。」

### 3. 会の動向

——会員募集を行い、増員されたことがあるそうですが、どのようなお考えからでしょうか。

「設立時は会員9名と小人数でした。幹事会活動のためにはもう少し人員が欲しいとの考えにより、同年の秋の区報でカラオケとバス旅行を主目的にして会員募集をしました。結果16名が募集に応じて合計25名の会になりました。」

——セミナーからと区報からとの参加者がいることになりましたが、上手に融合できましたか。

「2つのグループ、これを粉碎し、一つにすることが必要でした。親睦会の座席をくじ引きとして、会員間の会話機会を増やしました。今では誰と隣り合っても問題なく、良い関係が築けていると感じています。」

——結成後7年が経過していく中で、会員の皆さんの意識に変化はありましたか。

「結成当時は電話連絡でしたが、3年目からはLINE連絡となり時間の制約から解放されました。初年度はシニアセミナー幹事会ということで手一杯な感じでしたが、だんだんとNSNに対する理解が深まり、サマーフェスティバル世話役、セカンドライフ研究会、ミニブリッジに参画する等と同期会を超える活動につながってきた様に思います。」

### 4. 会の維持

——維持ということに関しては心掛けていることはありますか。

「年を経っていくとどうしてもやめていく人が出てきます。今思うに、初年度は同期会の結束を深める事から始まり、会の垣根を超えての活動を

経て会の維持を考えると云った流れになる様に思われます。しかし会は長く続いてほしいので10人の会員数は維持したいと考えています。そのため各会員が個人的にスカウトを行っています。現在、私は参加しているセカンドキャリア塾の仲間を勧誘中です。」

——会の約束事はありますか。

「88歳になられた会員にはお祝いを行うことにしています。また会員の冠婚葬祭には会としては参列しないことを皆で確認しました。」

### 5. オープン参加行事

——積極的に行ってきているように見受けられますが、どのようなお考えをお持ちですか。

「今までのバスツアー(第3回で終了)とカラオケは阿部が、チャリティーオークションは橋本が継続的に行う形になっています。会の弱体化を避け幅広く人とのつながりができることを意識しています。」

### 6. NSNに対する思い

——何か思い描くことはありますか。

「NSNに期待するだけでなく、NSNで何が出来るかを考えようという武藤会長の提言を重く受け取りました。それが自分の場合はチャリティーオークションにつながったわけですが、NSNの会員全員がその思いを共有出来たら良いと思います。」

### 7. その他

——NSNの皆さんに伝えたいことがありますか。

「運営連絡会や活性化委員会は提案に対して反応が無いことがもどかしいです。もっと意見交換できる場になってほしいと思います。会報については読んでもらえないと意味がないので、皆さんにはもっと読んでほしいと思います。」

お忙しい中、どうも有難うございました。さわやか'17の益々のご活躍を願っております。

(聞き手：会報委 Tsune)

### 俳句へのお誘い

#### ☆にこにこ俳句

俳句初心者集まりです。五・七・五の十七音に各人の思いを込めて、仲間と共に俳句を作って楽しみませんか。

(日時) 毎月第4日曜日 13:00~16:00

(場所) 石神井公園区民交流センター会議室

(会費) 100円/回

(申込) にこにこネット中島

☎ 070-3183-8090



#### 【編集後記】

武藤会長および役員の皆様、2期4年のNSNの運営ご苦労様でした。今後、決定される新役員に更なる期待をしたいと思います。

“同期会だより”も第4回目の掲載となり、それぞれの同期会の特色とか活動内容の一端が垣間見られ興味深いですね!! (山)